

ガーデンシティ舞多聞てらいけプロジェクト第10回公開講座を開催しました。

2013年3月23日(土)午前10時より、神戸芸術工科大学(以下、芸工大)クリエイティブセンターにて第10回公開講座を開催し、22組42名の方にご参加いただきました。

【プログラム】

- 「里山のある宅地」のグループWS第2弾(10:00開始)
～里山で住まう・憩う・集う～
神戸芸術工科大学 長濱伸貴 准教授
- 講演(13:00開始)
 - ◇てらいけプロジェクトの理念
～住まうことを誇りに思えるまち～
神戸芸術工科大学 佐々木宏幸 特別准教授
 - ◇てらいけの住まいについて～住まいの中の自然～
神戸芸術工科大学 小玉祐一郎 教授
 - ◇てらいけ第1次募集について概要説明 UR都市機構
16:30終了



公開講座終了後に参加者の皆さんと記念撮影



「里山のある宅地」の模型と積み木を使い、住宅配置を考える参加者

■「里山のある宅地」グループワークショップ

午前中は、「里山のある宅地(8画地)」を対象とした第2回目のグループワークショップを行いました。

まず、ランドスケープデザイナーである芸工大長濱伸貴准教授から、てらいけの入り口に位置した里山は「てらいけの顔」になることや、里山との関係を踏まえて住宅プランを考えることで、暮らしの中に自然や緑を取り入れることができるなど、事例写真や対象画地の図面を用いてご紹介いただきました。

そして、参加者の皆さんには、「里山のある宅地」の模型に積み木で「建築」しながら、住宅の配置を考えていただきました。皆さん、ご自身やご家族のライフスタイルだけでなく、採光やお隣りとの関係を思い描きながら「建築」され、傾斜した地形をうまく利用したもの、庭や趣味のスペースを大きくとったもの、キッチンガーデンや離れ住宅を設けたものなど、とても個性的な計画を披露されました。

最後に、参加者から「建築」でこだわった点について発表していただき、長濱准教授からは、緑の活用や、採光の工夫など、画地ごとに具体的なアドバイスをしていただきました。参加者同士の会話も弾み、和気あいあいとした楽しいワークショップとなりました。

【参加者の皆さんの感想】アンケートのコメントから抜粋

- ・それぞれの家のイメージをつかむことができ、グループ内での考えもわかり、夢が膨らみました。
- ・みなさんと話ができてよかった。



完成した住宅配置プラン
個性的な住宅が並びました！



「建築」毎にアドバイスされる長濱伸貴准教授

■「てらいけプロジェクトの理念

～住まうことを誇りに思えるまち～

午後は、まず芸工大佐々木宏幸特別准教授から「てらいけプロジェクトの理念～住まうことを誇りに思えるまち～」と題して、これまで9回を重ねる公開講座の歩みの中で、まちの価値を持続し、さらに向上させるために何が必要なのかを、海外の先進事例やみついけプロジェクトを参考にしながら考えてきたことや、そこから導かれた「住まうことを誇りに思う」という価値観の共有が重要となることから、当プロジェクトでは、「建物と建物間の空間の価値」に着目し、電線類の地中化や歩行空間の整備など、コミュニティ全体の価値をあげる空間作りを行い、それをコミュニティで持続し発展させるためのルール作りを行ってきたこと等をお話いただきました。初参加の方も、何度も参加頂いている方も、熱心に耳を傾けられていました。てらいけのまちづくりのルールとなる建築協定及び緑地協定は、先日神戸市から認可されましたことをご報告します(4月9日時点)。

■てらいけの住まいについて

～住まいの中の自然～

今回の公開講座では、「住まい」をテーマにしており、建築の構造や材料、建築と熱や光、風との関係から熱や空気の流れをコントロールする「パッシブデザイン」の開発研究と実践を進められている芸工大小玉祐一郎教授に、「てらいけの住まい～住まいの中の自然～」と題して、パッシブデザインが生まれた背景や具体的な事例紹介、これからの建築で実践するためのアドバイスなど多岐にわたるお話をいただきました。

パッシブデザインは、20世紀のエネルギー大量消費の反省から、機械設備に頼らず自然の力(太陽、風、地形、緑など)をうまく利用し、温熱環境を制御した快適な暮らしだけでなく、暮らしに自然を取り入れる「楽しさ」を得ようというものです。古来、日本の住宅は、冬の寒さ対策よりも夏の涼を求めることを優先していましたが、断熱、集熱、蓄熱のバランスをとるパッシブデザインをうまく取り入れることで四季を通じて快適な環境を創出できることをご説明いただきました。また、小玉教授が日本各地で手掛けられたパッシブデザインを用いた建築事例の紹介の他、今後、建築を考える際には、建物の方角だけでなく、ひさしの大きさや建築材料、窓の大きさを工夫することで、パッシブデザインを実践することができるというアドバイスをいただきました。専門的な内容でしたが、参加者の皆さんは熱心に耳を傾け、時折メモを取られる姿が印象的でした。



てらいけプロジェクトの理念についてお話される
佐々木宏幸特別准教授



パッシブデザインを用いた建築事例について
お話される小玉祐一郎教授

【参加者の皆さんの感想】 アンケートから抜粋

- ・自由とルール、コミュニティのバランスが重要かと感じた。自然との共生は参考になった。井戸を掘って地下の空気を利用するのはどうでしょうか？
- ・パッシブデザインの考え方は共感できる部分が多く、今後の建築計画の参考にしたい。またてらいけ全体の共通するコンセプトのような形で適用仕様として規定する等の提案をしてはどうか？
- ・家と家との間の大切さがよくわかりました。パッシブデザインの考えは共感できます。

○今後の予定

次回の公開講座は、5月19日(日)に「庭空間から考える快適な住まいづくり」等の講義を予定しています。是非ご参加下さい！
★いよいよ5月25日(土)からてらいけ第1次【定期借地・宅地分譲選択制】募集の申込受付が開始します。是非ご検討下さい！